

# 2022年度【第11回】 四国地区社会福祉士合同研修会 「ソーシャルワークを紡ぐ」 ～一人ひとりが繋がりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～

現在、少子化、核家族の進行により社会の形態は大きく変化しており、私たち社会福祉士も一つの分野や単独のアプローチでの課題解決が難しくなっています。また新型コロナウイルスが急激に拡大したことで、人々がつながりあい支えあいながら生活してきた従来の形態が極めて困難になり、孤立化が顕著に進んだり、社会的格差の問題が顕在化するようになったりと社会の課題も大きく変化してきています。

私たち社会福祉士は、このような社会の変化にどう対応し、何を目指していくべきなのでしょう。誰もが自らの意思が反映された生活を送ることが可能になるように、本人の最善の利益を考えながら支援していくにはどうしたら良いのでしょうか。社会の様々な分野で多様な人々や組織とつながりあいながら、多様性の尊重、権利擁護を意識して活動していくためには何が必要なのでしょう。

本研修会では、講演や様々な分野で活動しておられる実践報告を通じて、日頃からこれらの問題について対峙している私たちが、実践から学んだ「英知」を結集し今後のソーシャルワーク実践の展望について考える機会とします。一人一人の生活の質を高めていくために、人々がつながりを実践できるように、ソーシャルワークを紡いでいきましょう。

2022年(令和4年)12月10日(土)・11日(日)

場所：ホテルマリンパレスさぬき

(〒760-0066 香川県高松市福岡町2丁目3-4)

+ オンライン

対象：社会福祉士(四国地区以外も可)・社会福祉に関心のある方

定員：会場100名

：オンライン全体会270名(Zoomを使用)

(先着順、定員になり次第受付を終了します。)

：会場研究分科会各30名程度

：オンライン分科会各90名

(第1～第3希望により割り振ります。)

(第1～第3希望により割り振ります。)

参加費：

会場で参加 4,000円  
オンラインで参加 3,000円

会員、非会員同額

※オンライン参加の場合、途中で通信状態が悪くなった場合や、途中退席した場合等いかなる場合も参加費の返金はできません。



12/10(土)

12:30～受付

13:45～15:15

〈基調講演「権利擁護としての意思決定支援」〉

毎日新聞客員編集委員、植草学園大学 副学長・教授

野澤 和弘 氏

※プロフィール詳細はこちらに掲載しています。

<http://www.kagawacsw.com>

15:30～17:00

〈シンポジウム〉

シンポジスト

- ・毎日新聞客員編集委員 野澤 和弘 氏
- ・香川県弁護士会 松本 タミ 氏
- ・香川県社会福祉士会 和泉とみ代 氏

コーディネーター

- ・前香川社会福祉士会会長 岡崎 昌枝 氏



1983年毎日新聞入社。いじめ、引きこもり、児童虐待などを報道する。論説委員(社会保障担当)を11年間務め、現在、社会保障審議会障害者部会委員、障害者政策委員会委員などを務める。主な著書に「条例のある街」(ぶどう社)、「あの夜、君が泣いたわけ」など多数。

2日目

12/11(日)  
9:00~12:00 実践研究  
12:00~12:10 閉会

## 研究分科会1 地域支援（災害）

### 【開催趣旨】

東日本大震災からの復興支援や減災対策の推進のほか、新型コロナ対応など私たちの日常の中で災害対策が大きなウエイトを占めてきております。このような中、私たちに社会福祉士として地域社会でその専門性を受け、社会福祉士として災害対策における社会福祉士が担うべきソーシャルワークについて深めていきたいと考えています。

会場： 瀬戸 A  
司会： 田中 元 氏  
助言者：特別養護老人ホーム満濃荘  
施設長 栗田 猛 氏  
発表者：・徳島県 湯浅 雅志 氏  
・愛媛県 米田 順哉 氏  
・香川県 三木 貴子 氏

## 研究分科会2 生活構造（在宅支援）

### 【開催趣旨】

少子化、核家族の進行により社会形態は大きく変化してきているほか、新型コロナウイルスの拡大により、従前の人々のつながりあい支えあいながらの生活構造が機能しなくなっています。このような中、私たちに社会福祉士として、地域社会でその専門性を生かした在宅支援が求められています。この分科会では、各報告者から、それぞれの分野での実践報告を受け、社会福祉士として、在宅支援分野における社会福祉士が担うべき役割と専門性について深めていきたいと考えています。

会場： 瀬戸 B  
司会： 筒井 達也 氏  
助言者：自立ケアシステム香川 訪問看護ステーション  
管理者 和泉 とみ代 氏  
発表者：・徳島県 萩田 靖子 氏  
・高知県 土居 美久 氏  
・香川県 大平 朋美 氏

## 研究分科会3 相談援助（多職種連携）

### 【開催趣旨】

少子化、核家族の進行により社会形態は大きく変化してきているほか、権利擁護の徹底、多様性の尊重など、ソーシャルワークのあり方がより人々のニーズ等に対応することが求められています。このような中、私たちに社会福祉士として相談援助の場で本人の最善の利益の追求が図られるようその専門性を生かした支援が求められています。この分科会では、各報告者から、それぞれの分野での実績報告を受け、社会福祉士として相談援助（多職種連携）における社会福祉士が担うべき役割と専門性について深めていきたいと考えています。

会場： 屋島 A  
司会： 和田 有加 氏  
助言者：四国学院大学社会福祉学部 社会福祉学科  
准教授 北川 裕美子 氏  
発表者：・高知県 片岡 裕美 氏  
・愛媛県 西村 幸 氏  
・香川県 山本 眞也 氏

## 会場：ホテルマリンプレスさぬき

〒760-0066 香川県高松市福岡町2丁目3-4



主催：一般社団法人愛媛県社会福祉士会  
一般社団法人高知県社会福祉士会  
一般社団法人徳島県社会福祉士会  
公益社団法人香川県社会福祉士会（主管）  
後援：（予定）公益社団法人日本社会福祉士会 社会福祉法人香川県社会福祉協議会  
一般社団法人香川県介護福祉士会 一般社団法人香川県介護支援専門員協議会  
香川県精神保健福祉士会協会 香川県医療ソーシャルワーカー協会  
香川県ソーシャルワーカー協会 香川スクールソーシャルワーカー協会  
香川県相談支援専門員協会

参加申込：別紙「参加・宿泊申込書」により、2022(令和4)年11月18日までに、  
下記WEB申し込みURL(またはQRコード)よりお申し込みください。

URL <http://www.mwt-mice.com/events/sw-shikoku2022>

申し込みQRコードはコチラ▶▶▶▶

参加費の振込に関しましては、後日郵送される請求書をご確認の上、11月30日(水)までにご入金ください。  
キャンセルについては、キャンセル料が発生します。キャンセルされる場合は必ず下記までご連絡ください。

名鉄観光サービス(株)高松市店(担当:喜多野・井上)  
〒760-0023 香川県高松市寿町1-4-3 高松中央通リビル3F  
TEL 087-822-1621 FAX 087-822-1628  
E-mail: yusuke.kitano@mwt.co.jp

